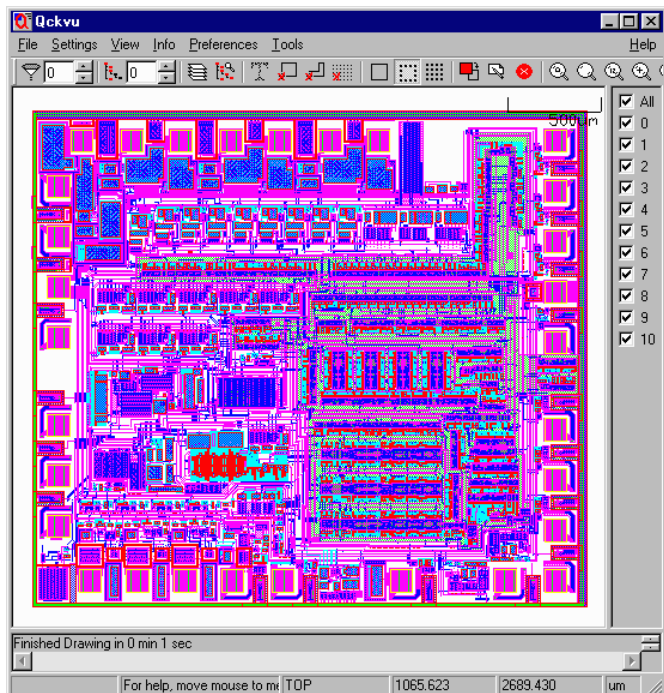


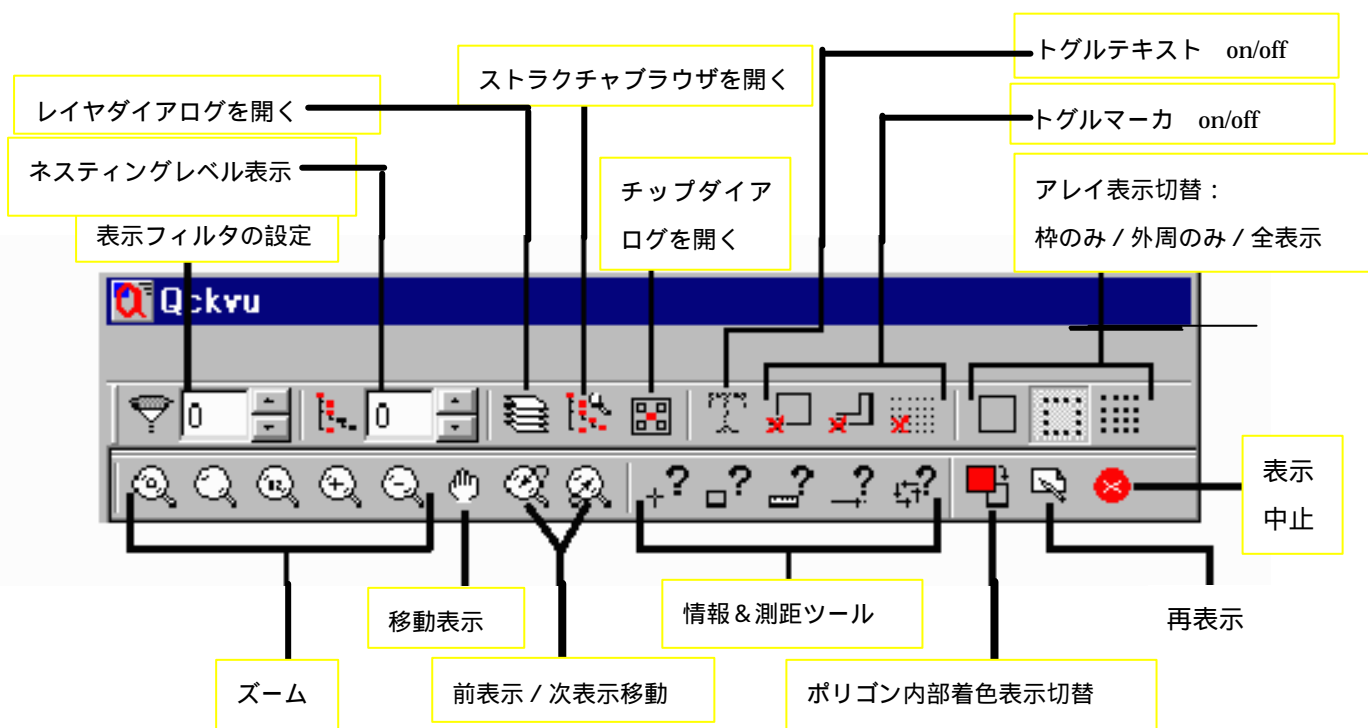
Qckvu™ High Speed GDSII Viewer

クイックビュー 高速 GDSII ビューア



GDSII ストリームデータを短時間に表示

- ! 1GB を超えるファイルサイズの GDSII ファイルを分単位で表示させることが可能
- ! データは RAM に圧縮してロード
- ! ファウンドリとデザインハウス間の調整に利用可能
- ! Unix 版では GDSPLOTT インタフェース(オプション)により、プリンタの制御が可能
- ! MBSVU オプションにより、MEBESRファイルの表示が可能
- ! コマンドスクリプトの利用が可能。DRC 出力ファイルと合わせて使用すれば、デザインエラーの確認が容易
- ! Extract 機能によりレイアウトから一部分の抽出可能
- ! QIS(Qckvu Image Server)オプション(開発中)を導入すればクライアント側からビューイング可能



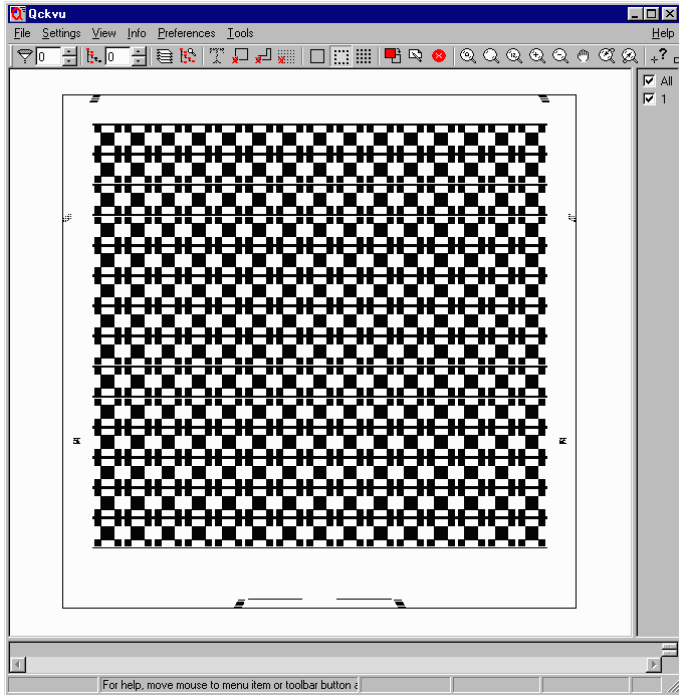
Qckvu インタフェース

製品は1ヶ月間無料で御評価できます! 以下のOSが利用可能です。

- ! Windows 版 Windows NT4/2000 (Windows 95,98 は評価用のみとなります)
- ! Unix 版 Solaris 2.6 以後, HPUNIX 10.2 又は 11 以後
- ! Linux 版 Red Hat Linux 7.2 以後

MB SVU により、MEBES ファイルを見ることが可能です。Qckvu と共通インタフェースのため、Qckvu のオプションとして導入できます。MEBES のバージョン I,II,III,IV,V をサポートするほか、MEBES ジョブデッキにも対応しております。

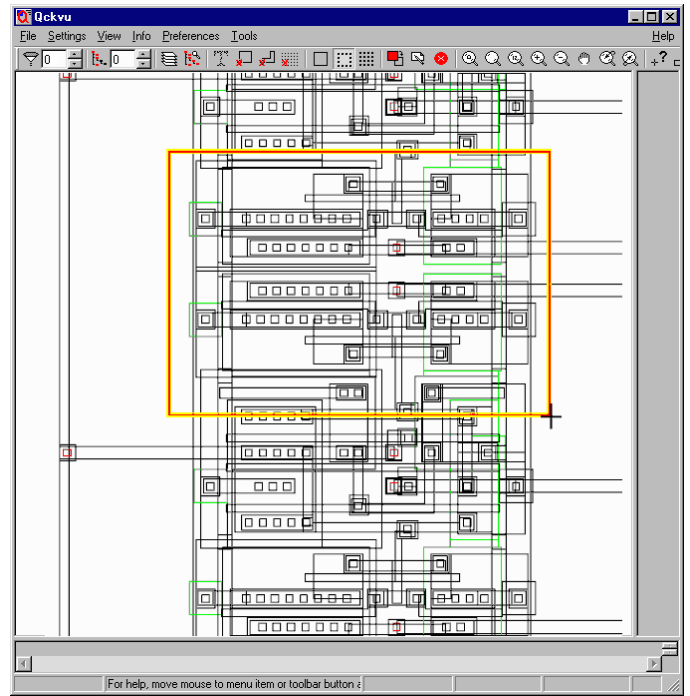
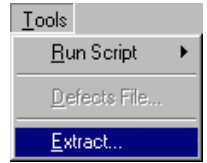
完成したマスクです。ジョブデッキが3つの MEBES ファイルを含んでいます。メインデータ、マスクのアウトライン、基準線です。



Extract 機能

「Extract 機能」により、大きなチップのレイアウトパターンから小さな部分の抽出をすることができます。ディスプレイで必要図形のみを表示させてから、エクストラクト機能を選んでください。次にディスプレイ上に枠を描いてください。

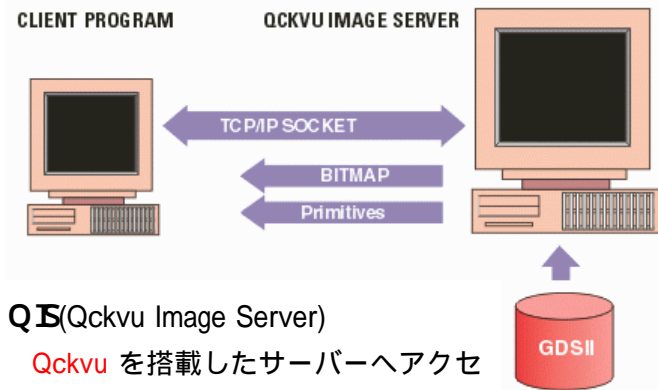
この枠にかかっている図形に対して新しい GDSII ファイルが作成されます。



コマンドスクリプト

Qckvu には簡易なスクリプト言語が備えてあり、コマンドによりディスプレイ表示を操作可能です。ユーザーがスクリプトを記述することもでき、また DRC 出力ファイルと組み合わせれば、DRC エラーの場所毎にディスプレイ上を移動させることができます。つぎのようなコマンドがあります。

- Open_GDSII
- Open_Structure
- Set_Layers_On!Off
- Set_Window
- Set_Fill
- Set_Text_Mode
- Set_Array_Mode
- Set_Nesting_Level



QIS(Qckvu Image Server)

Qckvu を搭載したサーバーへアクセスすることにより、クライアントからリモートビューイングが可能です。

クライアントから TCO/IPソケット経由でQckvu サーバーへコマンドが送られます。右記のコマンドスクリプトと同じコマンドが使用できます。クライアントでは設計画像はもちろんレイヤやストラクチャのリストも受け取ることができます。設計データの確認が送付を受けることなく可能となります。

Qckvu ベンチマークレポート			
ファイルサイズ	スキャンタイム	ロードタイム	全表示
520Mb	30 秒	19 秒	86 秒
727Mb	26 秒	25 秒	67 秒
2.6Gb	87 秒	169 秒	167 秒
Pentium4 1GHz 512MRAM Win2000SP2			

GDSII/IC Plotting Software

GDSII ストリームデータをラスタフォーマットに変換

！プロッタの CPU やメモリは使用せず、高性能なワークステーションで変換処理するので、ギガバイト規模の GDSII データが短時間でプロット可能

！HP 社をはじめとして各社製プロッタ、プリンタに対応

！RTL, PCL, PostscriptII, CCRF, TIFF などのラスタフォーマット対応

！Unix 版には Cadence 社の Virtuoso とのインターフェースがオプションとして供給

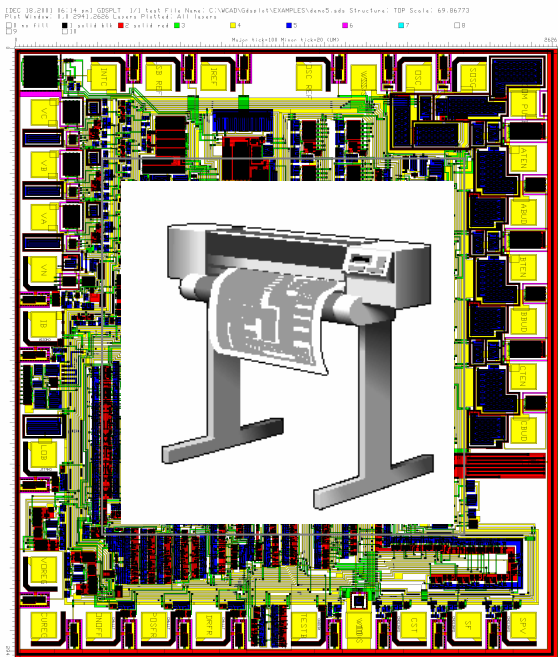
製品は 1 ヶ月間無料で御評価できます！

利用可能 OS

！Unix 版 Solaris 2.6 以後, HPUNIX 11 以後

！Windows 版 Windows 95/98/NT4/2000

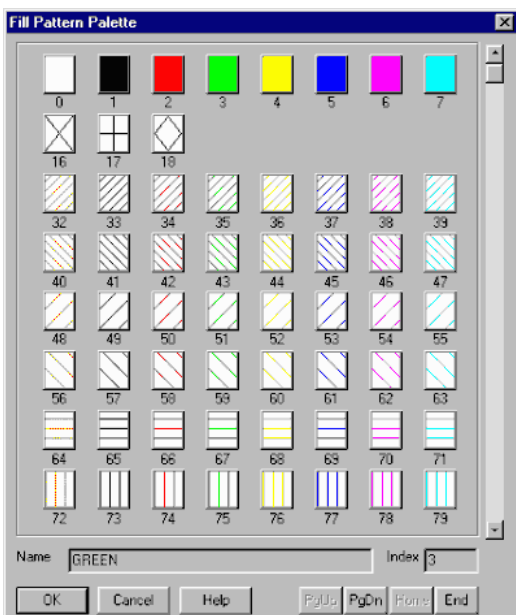
！Linux 版 Red Hat Linux 7.2 以後



使いやすいユーザインタフェース



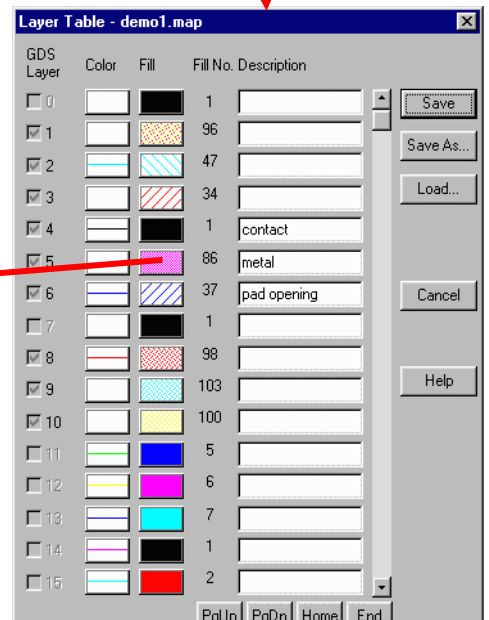
- GDSII ファイルを選択するダイアログが開きます / ストラクチャを選択
- タイトル、ルーラの有無、アレイプロット方法等入力
- 倍率、プロットするレイヤ、領域等の入力
- プロッタの型番、用紙サイズ、用紙方向、マージン、dpi、ヘッダ等
- 各レイヤにフィルパターン、輪郭の色と線種を設定 **click**
- プロットエンジン動作開始
- GDSII ファイルを表示 / ログを表示



レイヤテーブルメニュー

右図に示すように、各 GDSII レイヤにアウトラインの色、ラインタイプ、及びフィルパターンが割り当てられます。 **click**

フィルパターンは約 300 種類から選ぶことができます。左の図はその一部です。ユーザー作成のフィルパターンも用いることができます。



Qckvu™ High Speed GDSII Viewer

クイックビュー

高速 GDSII ファイルビューア

MBSVU MEBES Viewing Software

メービスビュー

MEBESR ファイルビューア

QCKVU は、ギガバイトクラスの大容量 I C データを短時間で表示します。設計データの表示の遅さへの不満は解消されます！ D R C 結果の確認用、設計 - 製造間の共通ツールとして最適です。QCKVU は GDSII ファイル専用ですが、MBSVU と同一インターフェースのため MBSVU をオプションとしてご使用になれ、これにより MEBES® ファイルの表示が可能となります。

GDS PLOT GDSII/IC Plotting Software

GDS プロット

GDSII プロットングソフトウェア

GDS PLOT によって大規模 GDSII データを短時間でプロット可能となります。HP 社をはじめとして各社製プロッタ、プリンタに対応しております。Unix 版には Cadence 社の Virtuoso とのインターフェースがオプションとして供給されております。

ASM 3500 DXF to GDSII Bidirectional Translator

ASM3500

GDSII-DXF フォーマット変換

ASM3500 は、GDSII 形式と AutoCAD で用いる DXF 形式の双方向データフォーマット変換ソフトウェアです。

QckBool

クイックブール

GDSII 形式データの後処理用ソフトウェア

QckBool には、図形の論理演算（2つの多角形領域の AND, OR, XOR 処理、白黒反転等）、多角形のリサイズ（一定幅縮小、拡大）など、DRC の前処理、マスク作成に必要な機能を有しております。

GDSFILT GDSII Filter and Merge Utility

GDS フィルト

GDSII データフィルタ処理

GDSFILT では、特定レイヤもしくはストラクチャのデータ切り出し、複数データの合成、及び一定サイズ以下の多角形除去などの機能が可能です。高価なエディタを使用せずに簡単に処理できます。

NETEX Netlist Extraction from GDSII Layout

ネテックス

ネットリスト抽出ソフトウェア

NETEX には GDSII 形式データから同一電位の配線領域を抽出する機能を有します。I C 中の配線容量解析を 2 次元フィールドソルバで実行する際の前処理に最適です。精度のより高い配線容量解析に向けた処理が可能となります。

TIFF2MEBES TIFF Bitmap to MEBES Converter

ティフトゥーメービス

TIFF ビットマップから MEBES への変換

TIFF2MEBES は TIFF ビットマップデータを MEBES データまたは GDSII データに変換するソフトウェアです。

開発元：

ARTWORK CONVERSION SOFTWARE, INC.

417 Ingalls St. Santa Cruz, CA 95060, USA

日本販売代理店：

NTTアドバンステクノロジー株式会社

先端技術事業本部 CADシステム事業部

〒163-0430 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル

TEL:03-5325-0782 FAX:03-5326-7845

URL: <http://www-cad.ntt-at.co.jp>

Email: info@cad.ntt-at.co.jp

2003.1